

東京に現れた「駆け込み寺」 七千人が訪れる精神修養所

東京で雄大な自然が体験できる秋川渓谷。その山間に立つ天光寺には精神の鍛錬目的に、さまざまな修行者が集まってくる。その多くを占めるのは企業研修で訪れる人たちだ。かつて経営者として成功した高尾聖賢住職が開いた天光寺では、厳しい修行と仏教の心、そしてビジネスマンの心を射抜く法話を通じて、現代の企業が求める人材育成に貢献している。

取材文：福岡誠一郎

都心から車・電車で2時間あまり。大都会・東京のイメージとは対照的な、野性味あふれる自然が魅力の秋川渓谷一帯は、夏場はキャンプ、溪流釣り、トレッキングなどで賑わう。天光寺はそんな賑わいから離れた峡谷の奥深く、檜原村の山間に開かれた修行専門の寺院だ。一般人を対象とした修行寺は全国でも他にあまり例がない。

境内に足を踏み入れると、本堂から般若心経を唱和する声が響いてくる。取材日は平日だったが、老若男女入り混じった40人ほどが、それぞれの意思で修行に訪れていた。週末には50人以上になるといふ。これが天光寺の日常だ。本堂には巨大な護摩壇があり、修

行者たちは白い行着に身を包み、真剣な表情で読経に臨む。480坪の建物の敷地には修行に必要な施設を完備。総勢15人ほどのスタッフが勤め、大人数の修行者を受け入れる体制を整えている。

引きこもりや不登校に悩む人々、メンタルの不調に苦しむ人々にも広く門戸を開いており、現在、修行を申し込む人は年間7000人超。その数は年々増える一方で、近年は企業研修の需要も高まり、申し込みが急増している。自衛隊や警察をはじめとした公的機関や組織、そして規模や業種を問わず、さまざまな企業の社員たちが、人間性の向上と精神的な成長を求めてここにやってくる。寺院というより巨大な道場、研

修センターといった印象を抱かせる天光寺だが、今も拡張工事が続けられており、さらに敷地を広げ、施設も増設する計画を立てている。

苛酷な修行が生む連帯感—— 企業研修がもたらす変革

取材の前月には大手警備会社の社員200人に対する大規模な企業研修があった。一泊二日のプランを50人ずつ、4回に分けて行ったという。プログラムは多岐にわたっており、挨拶と発声の練習をはじめ、三禮、写経、写仏、さらに瞑想、密教座禅、お百度参り、川での水行、そして滝行を行う。

「三禮は肉体的に非常に厳しい修行です。苦しさのあまり途中でやめた

いと思い、ふと横を見ると仲間が必死に取り組んでいる。そこで自分もやめられないと奮い立ち、全員で最後までやり抜くのです。やり終えた瞬間、自然と拍手が起こる」

そう語るのは、修行全体を指導する高尾聖賢住職である。苛酷な修行体験を共有することにより、参加者の間には強固な連帯感が芽生え、それが職場における協働意識や成果へと結びつくという。

実際に企業側からの評価も高く、ある大手企業では、コンサルタントに委託していた従来の研修では効果が限定的であったが、天光寺での精神修養では、社員の意識が大きく変化し、技術習得にも好影響をもたらしたとの声も寄せられている。

実業家から二転、仏道へ—— 高尾住職が築いた「修行の道場」

東京都墨田区出身の高尾聖賢住職は寺族ではない。ただし少年時代から仏教、特に空海の密教に興味を抱いており、若い頃は真言宗智恵山派の大本山である高尾山薬王院に頻繁に足を運んでいたという。

1970年代——20代の頃から実業家として社会で活躍し、飲食業や不動産業など6社を経営。社員数は1500人以上に達する規模まで事業を広げた。しかし、10年あまりにわたってがむしゃらに仕事を続けるうち、「物質社会では何も解決できないのではないか」という疑問を抱くようになる。

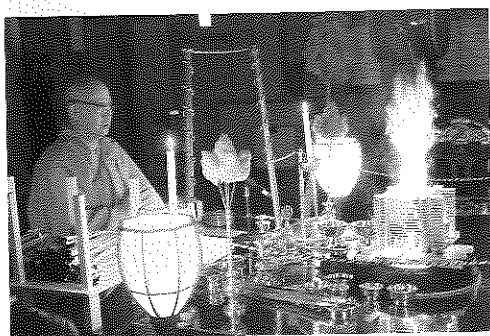
転機となったのは30代前半の頃、瞑想をしていた時に得た体験だった。「宇宙に行って授かってしまったのです」——住職はそう表現する。もともと霊感が強かったが、その特別な体験によって仏道に入ることを決心。しかし、大勢の社員がいる会社をそのまま投げ出すわけにはいかない。事業を整理するのに13年もの歳月を要した。

実業界を去った後、真言宗豊山派で修行を積んで得度を受け、僧侶になると、私財を投じて、2002年12月、修行専門の寺院として天光寺を建立したのである。

「本来、仏教は生きている人が救われるための教え。私の寺では法事に関わらないし、檀家もいない。最



滝までは天光寺から車と徒歩で約20分。弘法大師空海への帰依を意味する「南無大師遍照金剛」のお経を唱えながら水を浴びる。



白杵山真言宗 天光寺

高尾聖賢住職が私財を投じて建立した、修行専門の寺院。修行だけでなく、祈願や祈禱も行っており、年間約7000人が訪れる。企業研修から個人の悩み相談まで、幅広いニーズに対応している。寺院内には、修行のための空間だけでなく、厨房・食堂・浴室なども完備され、大人数での宿泊も可能な設備を備える。スタッフは14～15名体制で運営されている。

高尾聖賢(たかお・せいけん)住職

東京都墨田区出身。元実業家として飲食業・不動産業など6社を経営し、社員数1500名以上の規模にまで拡大。30代前半に神秘体験をきっかけとして仏門に入り、真言宗豊山派で得度。四度加行および灌頂を成満する。実業での経験を活かした企業研修の指導には定評があり、注目を集めている。